



創立 2011年6月17日
SAITAMA UKISHIRO
JAPAN

埼玉浮き城プロバスクラブ

2021,10,15 発行

No. 124

例会日 毎月第3金曜日 ホテル ガーデンパレス 熊谷市佐谷田 3248 TEL048-525-7777
事務局 〒360-0823 埼玉県熊谷市榎町 106 (幹事 岡安眞也方) TEL・FAX 048-521-3359
会長 根岸 友憲 副会長 木島 隆夫 幹事 岡安 眞也 情報委員長 椎橋 俊夫

第 125 回例会 (10 月 15 日) 新型コロナウイルス感染予防対策のため休会となりました。

会 長 ス ピ ー チ

会 長 根 岸 友 憲



10 月に入り猛威を振るった新型コロナウイルスも大分納まりはじめ各地域に出されていた緊急事態宣言等が解除されました。これに伴い集会、イベント等をはじめようやく正常に近い経済活動を出来る見通しになってまいりました。

そんな状況のもと、我々プロバスクラブもコロナウイルスに振り回され苦悩の日々を送ってきました。8 月 9 月の例会中止に続き 10 月例会も実施できませんでした。

コロナから身を守るためにも今後とも注意深く活動を続けて行きたいと思います。

前年度 6 月に行なわれました 10 周年記念式典の記念誌及び記念品も 9 月には全会員の皆様にお届けすることができました。ご祝辞等をいただきました行田市市長を始め関係者の皆様への送付も 9

月末日までに全て終了致しました。

改めまして、10 周年記念実行委員会の皆様、ご協力いただきました会員各位にお礼申し上げます。

日本の政治も新しい執行部体制になり新総裁に岸田文雄氏が就任し、新型コロナウイルス対策の強化と強力な経済対策を目指すことを国民に約束したようです。楽しみでもあり不安でもあります。コロナ禍のなか我々プロバスクラブも悪戦苦闘しておりますが皆様のご協力に感謝いたします。



9 月 28 日埼玉浮き城プロバスクラブ、創立 10 周年記念誌を持参し、根岸友憲会長、木島隆夫副会長と共に、行田市市長 石井直彦様を表敬訪問を致しました。

市長におかれましては公務多忙の折、面談いただきましたことに、感謝申し上げます。

2021年9月 第3回 理事会報告

幹事 岡 安 眞 也

1. 行田市及び熊谷市に於いて8月コロナ禍ステージ4（感染爆発）となり、8月・9月の例会中止しました。
2. これを契機に「当クラブのコロナ禍へ対峙の姿勢確認」及び「対策」につき9月1日例会担当理事他6名で会合し、9月17日その拡大会議として理事会を召集致しました。その結果：
①理事各位の強い安全・安心意識による発議から一ヶ月後の10月16日例会は中止としました。
②前年度及び本年度の各種行事中止に伴い事務局発案のとおり本年度後半（令和4年1月～6月）会費徴収せむと致しました。
③コロナ禍対策等、理事会にて検討継続を確認。
3. 本年4月18日実施の当クラブ創立10周年記念行事に関連し下記を完成し、配布致しました。
①百六十余頁の壮大な「創立10周年記念誌」



- ②詳細動画記録のDVD 2件「創立10周年記念式典」「創立10周年記念ピアノリサイタル」



DVD「創立10周年記念ピアノリサイタル」



DVD「創立10周年記念式典」

会 員 投 稿



埼玉浮き城クラブ 35名の会員（自己紹介）は宝物

小 山 博

なんと素敵な10周年記念誌だろう！それぞれの会員が限られた紙面で自分自身の想いや自己紹介をして下さっている。プロバスクラブと言っても、月に1度2時間の会合である。

会員同士の会話の時間が極端に少ない。残念ではあるが、やむを得ない。

それでも今まで面識のなかった会員同士がお互いに話ができる事は、プロバスクラブ最大の利点である。

記念誌はあちこちから贈られてくるが、結果的に

関係者以外は残念ながら余り読まない。

私も青年会議所、ロータリークラブの会員であったので、5年ごとに記念誌を贈って頂くが、全く申し訳ないがペラペラとめくって終わり。余り面白くないからだ。（関係者は別）

だがどうだろう、この10周年記念誌は会員の写真を眺めながらすべて目を通した。

面白いし楽しいのである。

特に興味があったのは、岡安眞也会員（No.47）の中国語の話である。私には難解で、今一度じっくりと読ませて頂きたいと思っていますし、できれば時間を取って直接お聞きしたいものである。

又、岩崎安裕会員（No.58）の行田との縁話には時々お聞きしておりますが驚きです。

その他すべての方の感想を書きたいのですが、紙

面の都合もありごめんなさい。

それにしてもすべての会員がキャリアの方々と承知いたしておりますので、記念誌をそばにおいて読み直す事を楽しみにしております。

結論、私は耳が益々遠くなりましたので、文字は有難い。最も目もかなり視力が落ちて二時間程度が限界です。それでも楽しみに本があれば、今日を通さなくても積んでおいて少しづつ読む事を楽しみに横に置きます。

でもこの記念誌は当分私から離れません。貴重な

10 周年記念誌。

高橋、椎橋会員を始め、記念誌編集委員会の皆様へ拍手を送ります。



菅首相退陣 ポスト菅の争いの激化

清 水 孝 男

コロナ禍が進む中に、9月9日に緊急事態宣言が、また9月30日まで延長されました。これに対応して、プロバスの例会がまたまた中止となります。歴代会長さんには例会や諸行事の日程調整に、大変ご苦労されて居ります。

政界では、菅首相がコロナ対応で退陣されました。菅さんは「コロナとの闘いに明け暮れた日々だった。国民の命と暮らしを守る。この一心で走り続けてきたと一年を振り返っています。後任として河野さん・岸田さん・高市さんが出馬表明をしたが、「ポスト菅」を巡る争いは激化しそうです。

老生は自民党員の一人であり、総裁選には大きな関心があります。菅さんの政権発足直後の昨年の9月の内閣支持率は実に74%（読売新聞）を誇った。だがその後、数字は下落の一途を辿った。長引くコロナ禍でリーダーシップを発揮できないばかりか、国民に訴える迫力も説得力もまるでない。その自信や覇気が失せた表情に、国民の支持は次第に消えていき、ついに8月10日のNHKの調査では「29%」と30%を割り込んでしまった。菅さん本人も自覚の上の退任だが、後任首相には勝利か敗北か、自民党を救う

のは誰か、その期待は大きい。

台湾全島を感動させた「台湾です」

7月23日から8月8日まで開催された東京五輪で、台湾選手は、大活躍した。金2、銀4、銅6の計12個のメダルを獲得した。7月31日のバドミントン男子ダブルス決勝で、中国人ペアを下し、金メダルに輝くと、台湾全島は大興奮に包まれた

中国の軍事的、外交的圧力を長年受けてきた台湾の人々にとって、世界中が注目する五輪の舞台で「宿敵」を撃破したことは何よりも嬉しいことである。

今回の五輪で、台湾にとって大きな収穫は、メダルの数だけではなかった。台湾と呼称問題が国際社会に注目され、多くの国のメディアが台湾のことを五輪の公式名称「チャイニーズ、タイペイ」ではなく、「台湾です」と紹介したのだ。「やっと自分の名前でも呼んでもらえた」と涙を流した人は多い。主催者日本の優しい配慮と受け止められ「ありがとう日本!」といった感謝の書き込みがインターネットに溢れた。



未体験の脅威——ロッパ

澤 田 良 一

古い馴染の古川ロッパではなく、感染症コロナの第6波です。

マスコミではあまり言いませんが、今の緊急事態が終わってそれで全てが収まるかと期待はありますが、実はこの冬になると今度は大々的な流行の第6波が押し寄せるとの警告があります。

コロナウイルスは変異のたびに感染力が強くなって、現在のインドで変異したデルタ株では、空気感染で20メートル離れて通り掛かってでも感染するとか。非常にウイルスの数が多くて、現在の不織布マスクは殆ど効果が無く死亡率も増大しているとか。

(4) 埼玉浮き城プロバスクラブ会報

東京で良く言う密を防ぐとか、アクリル板で遮蔽するとかそういうのは効果が無いという話です。

そのうえ、我々高齢者は殆ど2回のワクチン接種を済ませていますがこのお陰の抵抗力が半年以上経過して薄れて来るほかに、そもそもデルタ株のコロナウイルスはワクチン効果を問題にしない性格とも言われます。

いちはやく2回の予防接種を済ませたイスラエルや英国での再拡大は情報の通りです。

空港ではもっと怖いと言われている南米ペルーで変異した「ラムダ株」を検出したにも拘わらず、時の総理の菅さんや都知事小池さんに遠慮して斟酌したものかその感染者のおばさんがオリンピック関係者だったので通過させて入国させて、野放しになってしまいました。

あとは、感染しても入院治療は期待できず、自宅療養なんて不思議な事を言い出して、まあ要するに一般国民は感染したら病院に来るな、自宅で苦しんで死ね！という事です。

何故か最初の頃には、欧州人に比較して東洋人には意外なほど被害は少なく不思議な印象がありました。よくわからず、遺伝子が違うからどうか、様々言われました。

東洋人は清潔だからとか、何だかわけの分からないことをいうアホもいました。ところが今度のデルタ株では、そんな気楽な事は通用せず、アジア地域で感染が急拡大しています。これからが本当の地獄なのかも知れません。

この影響で、世界の様々な食料やその他の物資の供給基地になっているアジアが機能不全となり、おかげで今や世界中が諸物価高騰、値上がりのインフレとなっています。

コンテナの輸送がコロナの為に滞って、輸送運賃も6倍にも跳ね上がって、それでも貨物は届かず、狂った日本のマスコミは殆ど無視していますが、世界のトヨタも40%の減産、最近ホンダも30%の減産を発表する事態となりました。

世界中がインフレなのに、唯一日本のみがデフレです、これは人口減や収入源による消費不況のためですが、御気楽な我が日本人は何も感じていないようです。

一時は隣組のおばさんでさえ、財政赤字はどうなるの？日本が破産したら生活はどうなるの？って騒いでいましたが、今はそのころよりも状況は遥かに悪化していますが誰もその事に言及しなくなりました、諦めたんでしょうか？

世界中が不景気な中でのインフレという、きつい

状態ですが、果たしてどうなりますやら。よくいう「スタグフレーション」なのかも知れません。

このうえは、コロナの画期的な治療薬の実現に期待するばかりです。根本的な治療薬が出来れば、状況は一変すると思われます。

コロナ以前には日本に多数ある製薬会社はずいぶん偉そうにしていたましたが、今までのところ、ワクチンも治療薬の分野でも全く存在感が無く、技術の日本、叡智の日本なんて得意そうにしていたましたが、まったくあいつら何なんでしょうか。

唯一世界に誇れるノーベル賞の山中教授の研究室の研究室費用をアホな役人が「削るぞ」なんて脅したそうで、ほんと世も末です。

兎に角今は、感染しないよう頑張る決意で、何とかして医療用マスクを入手したいとか、消毒用アルコールを買いだめしたり、非常食を密かに備蓄したりとか、自衛に注力するしか無さそうです。

朝刊を見ては「昨日の行田の新規感染者は何人？熊谷は？」の日々を過ごしております。

天が落ちる・地が裂けると冗談では言いますが、この新聞に触るのも配達人が感染していたらヤバいな！とか思ってしまいます。

一家四人で家庭内感染したパッくん、パッくんチョ！なんて冗談言っている場合じゃないですね。

巨大な感染源と思われる鉄道について、密防止を叫ぶ小池知事やその他の人達も何も言いませんが、何だか不思議です。押し合いへしあい、密防止どころじゃ無いですよ。

2年前には思いもよらず、今は旅行や外食、会食も儘ならず驚き呆れた事態となってしまいました。何とかしてくれ、古川ロッパ君！！

2021年9月 糖尿病患者 澤田良一



次回例会案内 11月19日(金) 第126回 移動例会 未定